

中野区議会議員

# 山内あきひろ

## 区民により添うやさしい中野

活動レポート 9号  
令和7年(2025年)冬号

発行：中野区議会自由民主党議員団・東京都中野区中野四丁目11番19号10階

### ごあいさつ

令和7年最後の定例会が閉会しました。一般質問では、区民の税金の適正な管理・監督、認知症の方やご家族の居場所づくりについて質疑しました。今後も区民の声を議会に届け、信頼される区政の実現に向けて活動を続けてまいります。

### ～財政援助団体の適正管理と監督体制強化について～



Q

渋谷区のフローレンス問題を踏まえ、中野区は公金リスクを一法人の問題と見るのか、それとも補助金制度全般の課題と捉えていますか？

**answer** 公金リスクは常に存在し、渋谷区の事案を一法人の問題とは見ていない。中野区では補助金交付制度全般の課題と捉え、交付時に制度の説明と確認を徹底し、同様の事案を防ぐ取組を進めていく。

Q

中野区で、当該法人によるひとり親支援や病児保育、医療的ケア児支援などの補助事業において、交付要綱違反による返還命令や改善指導の実績はありますか？

**answer** 中野区では当該事業者が居宅訪問型保育や医療的ケア児訪問看護を行っているが、返還命令や改善指導はなかった。

Q

中野区では申請・審査段階や事業運営中の監督体制を、登記簿確認など具体的にどう行っているのか。また問題発生時の対応フローはどう備えていますか？

**answer** 保育所整備では自己所有物件への補助時に抵当権の有無を確認している。運営開始後に担保提供する場合は区長承認と登記簿提出を求めている。対応フローは未整備だが、今後速やかに整備していく。

Q

規則や要綱で【根抵当権は禁止】と明記するなど、制度整備の必要性をどう考えていますか？

**answer** 中野区補助金等交付規則第16条は不動産担保に区長承認を義務づけ、第3条は補助金の公正・有効な使用を定めている。今後は全庁でコンプライアンス徹底を図る。

### 用語解説

財政援助団体	自治体から補助金や交付金などの財政的援助を受けている団体のこと。
フローレンス問題	渋谷区のフローレンス問題は、公的補助金で建てた保育施設を不適切に担保にして借金を行ったことや、事業選定・運営の不透明さが批判されている。
抵当権	不動産を担保にしてお金を借りた際、返済が滞った場合に金融機関などの債権者がその不動産を売却して借金を回収できる権利のこと。
根抵当権	不動産を担保にして将来にわたって繰り返し発生する借金をまとめて担保できる仕組み。



Q

中野区は2025年までに25ヶ所整備を目標としているが、現在22ヶ所にとどまっている。目標未達の理由と、既存22ヶ所の安定運営のために行ってきた支援は？

**answer** オレンジカフェは現在22ヶ所登録されていますが、3ヶ所は休止中で、新型コロナウイルス感染拡大後の再開の目途が立たないことや人手不足による継続困難が背景にあり、目標未達の要因も同様です。区職員は定期訪問で開催状況を把握し、運営相談や認知症サポートリーダーのマッチングなど支援を行ってきた。

Q

オレンジカフェは地域ごとに偏在し、浸透度や利用度に差がある。区民への周知と参加促進が重要であり、区主導の出張型やイベント形式による認知度向上の取組が必要では？

**answer** 多くの人が集う場や日常生活の中で立ち寄ることが多い場所での開催は、オレンジカフェの周知を進め、参加のハードルを下げる効果があると考えている。すこやか地域ケア会議では、スーパーのイートインスペースを活用したサロン活動の提案も挙がっており、地域活動との連携も含め検討していく。

Q

オレンジカフェを交流の場だけでなく支援への入口として活用し、認知症理解促進や孤立防止、介護者支援強化など多面的効果が期待される。総合支援体制の構築や今後の取組は？

**answer** オレンジカフェは、認知症の人やその家族が気軽に行ける場であり、支援関係者も集うことから、そこで話題が次の施策展開につながる可能性もあると考えている。今後、区内4ヶ所で展開している認知症地域支援拠点事業を地域のハブとして強化し、オレンジカフェをはじめ地域資源の連携体制を構築していく。

Q

中野区が主導して共通のアンケート形式を設けることで、意見を収集し、施策に活かすことが可能になるのでは？

**answer** 区職員が定期訪問し参加者の声を聞いているが、客観的データ化のためアンケート調査を検討していく。

Q

中野区においても、多世代に向けて分かりやすく情報を届ける環境整備が必要では？

**answer** あらゆる世代の区民が、認知症支援情報に容易にアクセスできるよう、他自治体の好事例などを参考に情報の一元化に努めていく。



用語解説

オレンジカフェ

オレンジカフェとは、認知症の方やその家族、地域住民、専門職が気軽集まり交流できる認知症カフェのこと。

プロフィール

昭和53年(1978年)10月31日 中野区生まれ  
宝仙学園幼稚園、中野区立立戸小学校、中野区立第三中学校(現 中野東中学校) 関東第一高等学校  
10代の頃より芸能事務所に所属。俳優としてCM、舞台、映画、ドラマ等で活躍  
認知症祖母の在宅介護・子育てのダブルケアラー経験者 認知症サポートリーダー  
所属委員会/厚生委員会(副委員長)、防災対策調査特別委員会

